

# シーマンシップを育む

## 帆船海王丸の海洋教室



(公財)伏木富山港・海王丸財団

常務理事(帆船海王丸船長)

斎藤重信

## <帆船海王丸の沿革>

- 伏木富山港の海王丸パークに浮かぶ帆船海王丸は、商船学校の生徒に訓練を行う航海訓練所の大型練習帆船として、**昭和5年(1930年)**姉妹船帆船日本丸とともに、神戸の川崎造船所で建造されました。**地球約50周(106万海里)を航海し、延べ11,000名余りの海の若人を育てました。**また、昭和35年の日米修好通商百年祭をはじめ、カナダ建国百年祭に参加するなど、主に**太平洋各地の港に寄港し、国際親善に寄与し、友好の輪を広げてきました。**
- **平成元年、海王丸(二世)の竣工に伴い、59年間に及ぶ練習船としての使命を終え、同年9月に帆船海王丸記念財団(現 伏木富山港・海王丸財団)へ移管され、翌年4月から一般公開を開始し、青少年錬成の場(海洋教室etc.)としても活用され、海事思想の普及に貢献しています。**

# ＜帆船海王丸の誘致と保存活用事業の沿革＞

- ・ S55 「帆船海王丸の保存を考える会」結成（富山商船高専教官）
- ・ S58.6 「海王丸を富山に呼ぶ県民の会」設立（会長:原谷北電会長）  
県民の会と新湊市が中心になって、海王丸誘致の陳情活動等
- ・ S62.12 知事、新湊市長、県民の会会長等が運輸省等に対し海王丸誘致を陳情
- ・ H元.3 運輸省が「練習帆船海王丸の保存及び有効利用に関する懇談会」を開催し、富山県と大阪市を構成員とする共同財団へ払い下げる方針を決定（平成元年4月3日付けで通知）⇒ 交互に一般公開等を実施
- ・ H元.8 「帆船海王丸記念財団を設立」（富山県と大阪市が共同出えん）
- ・ H元.9 国と帆船海王丸記念財団で国有財産売買契約を締結（1.1億円）
- ・ H 2.4 富山新港北埠頭で一般公開
- ・ H 4.7 海王丸パークにて一般公開
- ・ H 6.3 富山県での恒久係留が決定（大阪市が辞退）
- ・ H13.5 海王丸乗船者数100万人達成
- ・ H22.3 「とやまの近代歴史遺産百選」に選定（富山県教育委員会）
- ・ H25.1 海王丸パークが「恋人の聖地」に選定（地域活性化支援センター）
- ・ H30.7 現存する最古の日本建造練習帆船として「ふね遺産」に認定  
(公益社団法人 日本船舶海洋工学会)
- ・ H30.8 海王丸乗船者数200万人達成

# 現在の帆船海王丸の活動①

## ◆ 一般公開: 乗船見学者 年間 約7万人

(H25 69,234人)

### ● 100万人達成(H13.5.13)

(H26 67,127人)

(H27 74,994人)

(H28 67,830人)

### ● 200万人達成(H30.8.12)

(H29 60,054人)

## ◆ パーク来場者(入込数) 年間 約100万人

(H25 1,003,400人)

(H26 997,800人)

(H27 1,075,300人)

(H28 1,023,700人)

(H29 987,300人)

(富山県で集客数最上位の観光地)

# 現在の帆船海王丸の活動②

- ◆ 総帆展帆： 年間約10回計画（H30.9で累計247回）
  - H25.5.19に累計200回達成
- ◆ 海洋教室： 年間約25回（参加児童数約1,200名）
  - （H30.9で累計34,651名）
- ◆ 船上結婚式： H25.1に「恋人の聖地」に認定
  - H25.4から8回実施
- ◆ 幸せのベル結婚式 ● H29.6から3回実施
- ◆ 富山高専・滑川高校の学外実習
- ◆ 日本高周波鋼業の新入社員研修
- ◆ その他
  - 鯉のぼり掲揚式、花の迷路開園式、親子展帆体験、写真撮影会、カッター・セイリング教室、なごクルーズ、タモリカップ、富山マラソン、ジェントルライドetc.

# 展帆ボランティア 登録数734名(H30.9) 15歳から87歳まで



## 表彰状

帆船海王丸ボランティア同殿

あなた方は多年にわたり  
帆船海王丸の保全整備に  
参加するとともに総帆展帆の  
奉仕活動に尽力されるなど  
海事思想の普及に努められた  
功績は誠に顕著であります  
よって海の日にあたり  
これを表彰します

平成二十六年七月二十一日

北陸信越運輸局長 徳永 泉





**船上結婚式**  
**「恋人の聖地」に認定**  
**H25.4開始以来8回実施**



**幸せのベル結婚式**

**H29.6開始以来3回実施**

# ちびっこ天国



# 写真撮影会



# 総帆展帆



# 鯉のぼり掲揚式



# 花の迷路開園式



# 県警・海保合同訓練



# タモリカップ



# 親子展帆体験



# カッター・セイリング教室





# 海洋教室では

帆船海王丸の海洋教室では、日ごろ体験できない**マスト登り**や**カッター訓練**、**結索実習**や**手旗信号**などの実習を体験するとともに、**乗組員の体験談**を聞いたり、**甲板磨き**や**ベッドメイク**などの船の生活を体験することにより、①**船でのルールを守ること**  
②**皆で協力すること**  
③**大きな声で挨拶しきびきび行動すること、などの大切さを学び、友愛、協調性、責任感を育んでいきます。**

# ～乗船式～



この式より海王丸の一員と自覚すべし

# ～カッター訓練～



みんなの力をひとつにすべし

# ～マスト登り～



一歩ふみ出す勇気をもつべし

# ～船内探検～



海王丸の謎を解くべし

# ～火災避難訓練～



煙体験で火災の恐ろしさを学ぶべし

# ～ベッドメイキング～



毛布とシーツの組み合わせを学ぶべし

# ～海・船の話～

第1教室



海・港・船・船員のことを学ぶべし

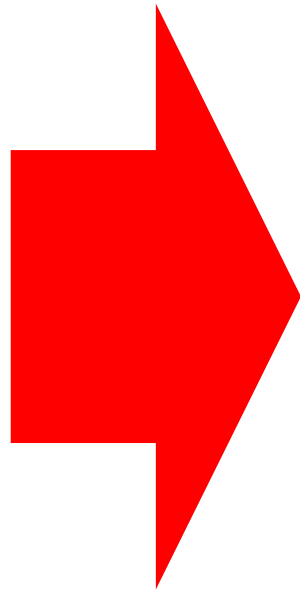


～甲板流し～



力と声をふりしぼり、磨くべし！

# ～ベッドの片付け～



みんなで協力すべし！

# ～手旗信号実習～



信号を自分の力で読みとるべし



# ～結索実習～



いろいろな結び方に挑戦すべし

# ～下船式・記念写真～



楽しい思い出として残すべし

# 海洋教室の流れと説明事項

## 1. 乗船前（1300）

- ・ バッジの着用、教本裏表紙に氏名記入
- ・ 諸注意

- ① **ジャンプ・走らない**…天井低い、階段急、突起物 頭を打つ
- ② バッジ着用…船内で一般客と見分ける、なくさないこと
- ③ **高所作業帽**…乗船前に配布、活動中にかぶる、かぶり方説明
- ④ **階段の上り下り**…手すり持つ、逆手、片手は空けて階段
- ⑤ **敷居をまたぐ**…乗ると滑る、頭を打つ、汚れる、マナー
- ⑥ **立ち入り禁止区域に入らない**
- ⑦ **マストには登らない**…大人が2日かけて訓練、危険が一杯
- ⑧ 壊れたら必ず報告する…ほかの人に怪我をさせるおそれ
- ⑨ 怪我をしたら必ず報告する
- ⑩ 許可なく船から出ない…泥棒防止にセンサーあり
- ⑪ 持ち物…部屋に荷物を置き、乗船式に参列する
- ⑫ **敬礼の方法**

## 2. **乗船式** (1330~)

- ①船長挨拶 ②児童挨拶 代表〇〇さん
- ③引続き職員紹介 (船長ほか〇名が指導します)

## 3. **居住区説明** (~1345)

- ・ 右舷・左舷・船首・船尾
- ・ **トイレの流し方**
- ・ **シャワー4つ 節水**
- ・ **白柵・黄色チェーン…立ち入り禁止区域**
- ・ **赤色チェーン…外してOK、ただし必ず元に戻すこと**

## 4. **活動 I** (~1430) **船内探検**

- ・ スタンプ、クイズ (夜に答え合わせ)
- ・ 赤チェーン、ロープ注意、ヒント、何人のグループで

次の集合は1430、5分前行動

5. **活動Ⅱ**（1430～）

- ・ **カッター訓練、マスト登り**

6. 居室使用（1630～）

空きベッドに荷物、帽子は入口のフック、扉は閉めない  
（カーテンしめる）、シーツはまだ広げない、  
水筒・タオルを持って行く、  
手洗い・うがいをして食事に備える

7. **夕食**（1700～）

（前）食事は皆一緒、船長がいただきます・ごちそうさま  
（勝手に食べたり、遊んだりしないこと）

トレイ運び順番（先の人が奥）トレイを置いて滑らせる、  
おかわりはあるが食べ過ぎない（活動続く）、  
ふつう盛り、30分くらい目安、  
**楽しむのはいいが遅すぎない**

（後）各テーブルで食器を重ねる、時計回りで、  
食事係は手伝う、

次の集合は1755に第一教室



## 8. 避難訓練（1800～）

部屋長の報告の仕方、上手な部屋の使い方

- ①スカツツルを空けない
- ②エアコンダクトは閉めない、方向は変えて良い
- ③寒い、暑いには船の人に連絡する
- ④サーモスタットはさわらない

## 9. 就寝準備、諸当番、巡検

### 10. 上記すべて終わったら全員集合

自由時間、シャワー利用可、**節水**

次の集合は2000

### 11. 海・船のお話（2000～）

**明朝は0630に総員起し**

・メインマスト前に集合（帽子、靴、靴下）

**寝るのも仕事のうち**、2200（2130）に就寝、

騒いだり話したりしない

**2200（2130）消灯（一日目終了）**

## 二日目

1. 0600起床（点灯）  
0630総員起しマイク、挨拶、人員報告、体操
2. 椰子摺り（甲板流し）
3. 甲板流し終了、シーツ回収、ベッドや毛布の整理、うがい
4. 0800旗章掲揚（大舵輪前）旗揚げの児童あり、朝食まで待機
5. 0830朝食  
次の活動が終わるとすぐに下船式なので、荷物を整理、部屋の掃除
6. 活動Ⅲ 0915第一教室（教本回収・検印）  
結索実習、手旗信号実習
7. 1115下船準備  
荷物を持って第一教室に集合、アンケート記入（名札回収）
8. 1150下船式  
①船長挨拶 ②児童挨拶 ③記念品授与 ④下船（帽子回収）

# シーマンシップ

シーマンシップとは**船員としての資質・心構え**のこと

- 船に関する**知識**や**技術**を身につける
  - 常に**ベスト**をつくすという姿勢
  - **安全**を守るという意識
  - **ルール**を守ること     **友愛、協調性、責任感**
- etc...

**船に乗る者は皆、船員という仕事に  
誇りを持って仕事をしている**

# 海洋教室のアンケート(引率)①

- 子ども達は**集団生活を通して成長**していくのがよくわかりました。
- 厳しい態度で臨んで頂いている事については、現代っ子に**緊張感**を持たせる意味で良いと感じています。
- できた! やった! やれた! と**達成感が持てた**のではないかと、**いきいきした表情**から感じました。
- 普段の子どもを見ていると、こういう**規律正しく、厳しい場所**で過ごさせてもらうことは、**本当に大切なこと**だと改めて思いました。
- 子ども達の指導、ありがとうございました。この中から**何人か、船に乗る仕事**についてくれることと思います。

# 海洋教室のアンケート(引率)②

- 団体行動での動き方、規律、時間、協力など様々な貴重な体験をしているように見えました。
- 「静かに聞く!」教室でいつも言っていることを、強く言っていただけで良かったです。
- 子ども達の意外な面が見られたところも良かったです。
- きびきびとした声、指示で、ピリッとした雰囲気がとても良かったです。(船の生活らしく)
- ルールにはみんなの安全を守るため、みんなが気持ちよく共同生活するためという目的がある事を学べたように思います。
- 次々と変化に富んだ生活を、子ども達は楽しんだようです。

# 海洋教室のアンケート(引率)③

- きびきびとした雰囲気、適切なご指導、温かい声かけ等、感謝でいっぱいです、ありがとうございました。
- 指導を厳しくして頂き、**社会生活の良い勉強**になったと思う。
- 規律ある生活で**子どもをある程度の枠にはめ込む**というの、なかなか良いと思った。(今は何でも自由にやらせ過ぎです)
- **シーマンシップ**を身につけて、自分も頑張っていきたいですし、**子ども達にも頑張ってもらいたい**と思いました。
- この教室をきっかけに、家に帰っても**きびきび行動**していければと思います。
- 船員の方々の**指導**に子ども達も真剣に取り組んでいる姿を見て、自分達の**子ども達への接し方**も改めて考え直さなければいけないと感じました。

# 海洋教室のアンケート(引率)④

- 乗船式から多くの活動に至るまで、ピリッと**緊張感のある時間**を過ごすことができました。学校内でいつも大切に指導していることが、学校以外の場でも大切であることを子ども達は知ることができました、ありがたく思います。
- 私自身は確信しました。**指示の出し方、タイミング、どうしてかの理由、この3つがそろって意味のある指導**になることです。日頃、少し甘くしている自分ですが、厳しさをしっかり伝えていきたいと、改めて感じました。
- 子ども達が実際に船の中にいた時間は、24時間ほどしかありません。しかし、その時間がとても濃いもので、本当に有意義な時間となりました。学校に帰ってからの子ども達の感想の中に、「**成長**」という言葉がたくさん聞かれました。

# 海洋教室のアンケート(引率)⑤

- 大変メリハリのある指導をしていただき、子ども達は少スキびスキび行動したり、真剣に聞こうとする態度が育ったと思う。
- 海洋教室から帰ってきて、活動班ごとに協力して壁新聞を作成させましたが、どの班も力を合わせてよい新聞をつくり、成長を感じました。
- この教室は「活動がとても充実している」と思うので、体調をくずす子どもも出ませんでした。(病は「気」から)これが一番引率する者として有難かったです。
- 引率者として、指示は少なく、子ども達の自立と自律の精神を大事に支援していきたいと思いました。(教育現場においても)



# 海洋教室のアンケート(引率)⑥

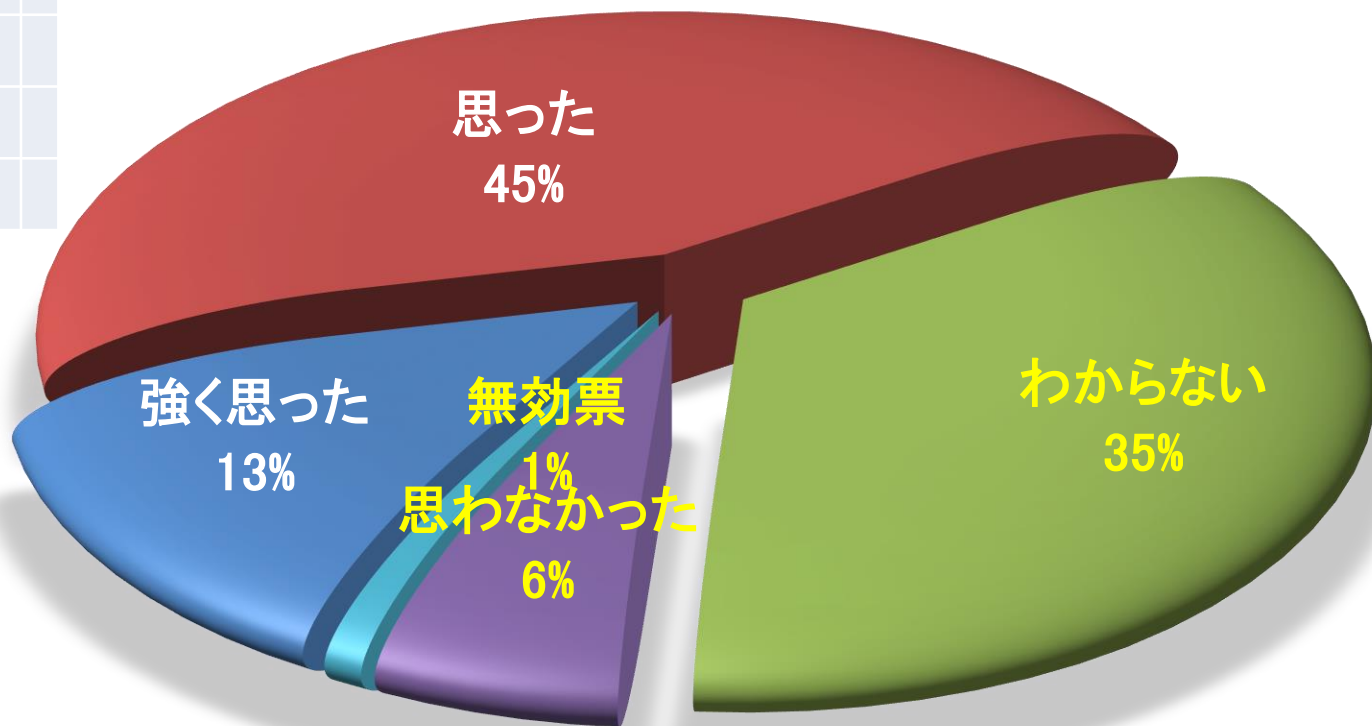
- シーマンシップという考えや航海士としてのやりがい等を知り、航海についての興味が高まった。
- 普段は少し甘えたがりで、何でも周りの大人に頼ろうとしてしまう子ども達ですが、この2日間は、自分達なりに考え、声をかけ合い行動していたように思います。
- 初めての活動に挑戦し、「できた」というのも、自信につながったようです。
- 規律ある言動で、身をもって指導していただいていることが、とても刺激となっています。よい見本、環境は、子どもにとってとても大切なことだと思います。
- たくさんの活動の中で、集団行動やルールを守る大切さを厳しく教えていただきました。

# 海洋教室のアンケート(引率)⑦

- 話を最後まで黙って聞くこと、きびきび行動すること、時間を守ることなど、日常の学校生活で教えていても、社会で通用するためには不十分であることを、実感いたしました。
- 特別な支援が必要な児童もいましたが、皆と同じ様に対応していただき、同じ様にできていて、少し安心しました。
- カッター訓練では、グループの友達と心を合わせ協力することを学べたようで、海上の風を肌で感じ、すがすがしい顔で戻ってきました。
- 海に浮かぶ船という特殊性から生まれる制約、不便さ、しかしそんな場所だからこそ得られるわくわく感他では味わえないことです。

# 〈参加児童のアンケート〉 海王丸での海洋教室を終えて、将来、船に関係する仕事をしたいと思いましたか（2017年度1,337名）

思いましたか	%
強く思った	13
思った	45
わからない	35
思わなかった	6
無効票	1





(公財)伏木富山港・海王丸財団  
帆船海王丸船長 齋藤重信

ご清聴有難う  
ございました  
た。終わり

